

## スリランカ青少年親善交流事業を実施しました

AIM・ジャパンは青少年親善交流事業として2024年9月14日～24日、スリランカから高校生10名を招き、青少年親善交流事業を実施しました。



本事業はコロナ禍の影響で一時中断していましたが、1994年より日本と送出し国の青少年同士の交流を通じて両国の親善と相互理解を促進するために実施しています。

交流の一環として、スリランカの高校生たちは横浜市立みなと総合高等学校、星槎国際高等学校を訪れ、日本語を交えながら自国の文化をプレゼンテーションし、伝統衣装で踊りを披露しました。

横浜市立みなと総合高等学校では、有志12名が交流会を企画しました。「好きな授業は？」「どんな音楽を聴いているの？」と、日本の高校生もスリランカの高校生も、外国の高校生活に興味を持っている様子でした。

星槎国際高等学校では、着付けを体験してもらい、着付けの先生が日本の着物文化を詳しく教えてくれました。「スリランカのサリーに似ている」「家ごとに違った紋があるところが面白い」とスリランカの高校生たちは自国の伝統衣装と比べながら話を聞いていました。



さらに、スリランカ人実習生を受け入れている矢崎総業株式会社、ヤマハ発動機株式会社を訪問し、実習生との座談会を行いました。皆、実習生の話に耳を傾け、日本での生活の様子や実習のやりがいなど積極的に質問していました。

また、日本の家庭での生活を体験してもらうため、アイム・ジャパン役職員がホストファミリーとなって2泊3日間、スリランカの高校生を家族の一員として迎え入れました。

一緒にスカイツリーなどの東京観光に行ったり、高校生たちがスリランカ料理を振る舞ったり、それぞれの家庭で充実した時間を過ごしたようでした。

今回の交流事業で、参加者は毎日さまざまな文化を体験し、日本人と交流し「将来、また日本に来たい」という声が聞かれるほど日本への理解を深めました。今後もこの事業を継続し、送出し国とのさらなる交流と親善の発展を目指してまいります。

